



2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月19日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 定時株主総会開催予定日 2020年7月29日 配当支払開始予定日 2020年7月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期の連結業績(2019年5月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	5,365	△11.1	△232	-	△450	-	△541	-
2019年4月期	6,037	5.8	114	-	118	-	917	-

(注) 包括利益 2020年4月期 △1,260百万円(-%) 2019年4月期 2,450百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	△44.94	-	△6.6	△3.9	△4.3
2019年4月期	74.48	-	11.6	1.1	1.9

(参考) 持分法投資損益 2020年4月期 △254百万円 2019年4月期 △73百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	10,557	7,492	71.0	619.89
2019年4月期	12,749	8,964	70.3	735.11

(参考) 自己資本 2020年4月期 7,492百万円 2019年4月期 8,964百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	△254	△726	△183	2,231
2019年4月期	976	436	494	3,417

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年4月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 10.00	円 銭 10.00	百万円 121	% 13.4	% 1.4
2020年4月期		0.00		10.00	10.00	120	-	1.6
2021年4月期(予想)		0.00		10.00	10.00		-	

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

2021年4月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を現時点では合理的に算定することが困難なことから未定とし記載しておりません。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

詳細につきましては、P4「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期	12,337,700株	2019年4月期	12,337,700株
② 期末自己株式数	2020年4月期	251,063株	2019年4月期	142,713株
③ 期中平均株式数	2020年4月期	12,043,422株	2019年4月期	12,323,986株

(参考) 個別業績の概要

2020年4月期の個別業績（2019年5月1日～2020年4月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	4,692	△11.6	△242	-	71	△78.2	△486	-
2019年4月期	5,309	9.3	241	358.3	327	170.3	906	3,111.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年4月期	△40.43		-					
2019年4月期	73.58		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年4月期	9,771	7,259	7,259	7,259	74.3	600.62	600.62	
2019年4月期	11,892	8,639	8,639	8,639	72.6	708.41	708.41	

(参考) 自己資本 2020年4月期 7,259百万円 2019年4月期 8,639百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会の開催日)

決算補足説明資料は2020年6月26日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2020年6月26日(木)に機関投資家向け説明会(テレフォンカンファレンス)を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府・日銀による経済政策や金融政策により、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、緩やかな回復基調が継続したものの、米中貿易摩擦の影響に伴う、海外経済動向の不確実性の高まりによる国内景気への影響が懸念されるなか、新型コロナウイルス感染症の発生により実体経済へ大きな影響が発生し、当社グループにおいても第4四半期に於いて、受注の大幅な減少となる等の影響が見られ、先行きに関しても不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、当社の主要顧客であるスマートフォン、自動車、時計部品、事務機メーカーなどの研究開発及び生産の状況は非常に厳しい状況であり、前期堅調であった時計、自動車部品も弱含みとなり、新規開発試作品製造、金型製造は第四半期に於いては大きな減少となりました。量産品製造の受注に於いては、時計部品・半導体製造装置部品等の一部試作品受注が量産品に移行となり、これらの受注は継続していますが、第4四半期に於いては、試作品製造・金型製造と同様に厳しい状況となりました。一方、ロボット・装置関連製品については、当社グループの独自製品であるマッスルスーツ、ドローン、配膳ロボット等をはじめとした介護・医療分野及びサポート・サービスロボット分野における技術の研鑽に積極的に取り組み新製品を市場へ投入するとともに、同分野を中心としたスタートアップ企業への包括事業連携を掲げて開始した「WORLD ROBOTEC」の取り組みを核として、受託開発や受託製造が拡大しております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は5,365百万円（前年同期比11.1%減）となり、売上総利益は829百万円（同41.1%減）、営業損失が232百万円（前年同期は114百万円の営業利益）となりました。スクラップ売却収入及び受取配当金等の営業外収益92百万円を計上し、持分法による投資損失等の営業外費用310百万円を計上した結果、経常損失が450百万円（前年同期は118百万円の経常利益）となりました。

さらに、持分変動利益、補助金収入等の特別利益168百万円を計上いたしました。また、投資有価証券評価損、固定資産圧縮損、減損損失等の特別損失118百万円を計上いたしました。これに、税金費用140百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は541百万円（前年同期は917百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

参考：製品別売上高

(単位：百万円、%)

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	増減率
試作・金型製品	3,268	2,577	△21.2
量産製品	2,088	1,944	△6.9
ロボット・装置等	529	790	49.2
その他・ガンマカメラ等	150	53	△64.3
合計	6,037	5,365	△11.1

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、10,557百万円（前期末比17.2%減）となりました。主な減少の内訳は、流動資産においては、現金及び預金2,484百万円（同32.3%減）、受取手形及び売掛金838百万円（同33.8%減）です。一方、固定資産では、投資有価証券3,780百万円（同15.2%減）です。

負債は、3,064百万円（前期末比19.0%減）となりました。主な減少の内訳は、流動負債においては、未払法人税等33百万円（同93.8%減）です。一方、固定負債では、繰延税金負債630百万円（同14.8%減）です。

純資産は7,492百万円（前期末比16.4%減）となりました。この主な減少の内訳は、利益剰余金4,155百万円（同13.9%減）、その他の包括利益累計額1,037百万円（同40.9%減）です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,185百万円減少し、2,231百万円（前期末比34.7%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、254百万円の支出超過（前年同期は976百万円の収入超過）となりました。主な収入要因は、売上債権の減少565百万円（前年同期は167百万円の売上債権の増加）、減価償却費239百万円（前年同期比24.9%増）、主な支出要因は、税金等調整前当期純損失400百万円（前年同期は税金等調整前当期純利益1,391百万円）、法人税等の支払額756百万円（前年同期比526.0%増）です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは726百万円の支出超過（前年同期は436百万円の収入超過）となりました。主な収入要因は、投資有価証券の売却による収入23百万円（前年同期比98.0%減）、主な支出要因は、生産設備への投資による有形固定資産の取得による支出212百万円（前年同期比27.8%減）、投資有価証券の取得による支出353百万円（同0.1%増）です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、183百万円の支出超過（前年同期は494百万円の収入超過）となりました。主な収入要因は、非支配株主からの払込による収入4百万円（前年同期比99.5%減）、主な支出要因は、配当金の支払額121百万円（前年同期比40.8%増）です。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
自己資本比率(%)	70.6	72.1	73.2	70.3	71.0
時価ベースの自己資本比率(%)	153.9	107.0	104.8	74.1	67.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(債務償還年数)	-	0.9	1.7	0.8	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	-	117.8	56.0	104.0	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1） いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2） 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

（注3） キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4） 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中通商問題や新型コロナウイルス感染症等の影響が予測できないことから先行きが極めて不透明であり引続き厳しい状況が続くと予想されます。

このような事業環境において、当社グループは開発試作品製作から製品量産製造に至る「ものづくりを総合的にサポートする」企業として、業界での地位を堅牢なものとするための諸策を講じてまいります。顧客に対しては、試作開発品製造の受注時点において、試作段階から組立・量産製造段階までを網羅した技術検討を積極的に提案し、試作から量産完了までのリードタイム圧縮を提供いたします。このことは、顧客に対し新製品市場投入の最適タイミングを、更には先駆者メリットを提供することとなり、これをもって当社ブランドの向上を図ります。これまでの主要顧客であったスマートフォン・事務機器等の研究開発及び生産状況等に厳しさが見られるため、自動車部品、医療機器、半導体製造装置など、これまで以上に製品分野の拡大に取り組んでまいります。また、これまで研究開発において、産学官の連携事業と兼ね合わせて推進してきた、当社の総合加工技術を有効活用した当社グループオリジナル製品の事業化を目指してまいります。特にサポート・サービスロボット分野を中心としたスタートアップ支援においては、政府の成長戦略に伴い、市場ニーズが高まっており、様々なスタートアップの事業化に取り組んでおります。当社は研究開発活動において培ったノウハウを生かし、製品・ユニット単位での製造活動を中心に国内のスタートアップに対し、マーケティング・販売・保守・大量生産・資金調達など事業化を総合的に支援してまいります。

以上の施策をもって、社会・顧客・株主・従業員から信頼を得て、広く認知される企業としてブランド価値を高め、ひいては企業価値の向上を図る所存であります。

新型コロナウイルス感染症対策のための緊急事態宣言は解除されましたが、経済活動の制限は段階的緩和となり、一方、第2波の拡大リスクもあり経済活動停滞の長期化が予想され、現時点での業績予想の算定が困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達の必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、今後につきましては、特に、当社と同じ、東証JASDAQ市場に上場している他社の国際財務報告基準の適用動向等を踏まえた上で、国際財務報告基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670,143	2,484,016
受取手形及び売掛金	1,266,454	838,761
電子記録債権	524,449	377,393
商品及び製品	88,733	96,686
仕掛品	219,081	196,574
原材料及び貯蔵品	177,765	161,500
その他	309,673	474,965
貸倒引当金	△28,776	△56,301
流動資産合計	6,227,525	4,573,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,712,995	2,723,240
減価償却累計額	△1,381,430	△1,433,395
減損損失累計額	△477,736	△477,740
建物及び構築物(純額)	853,828	812,104
機械装置及び運搬具	2,995,315	3,192,800
減価償却累計額	△2,489,287	△2,577,300
減損損失累計額	△210,469	△210,469
機械装置及び運搬具(純額)	295,557	405,030
工具、器具及び備品	595,315	628,469
減価償却累計額	△539,767	△557,604
減損損失累計額	△16,443	△17,434
工具、器具及び備品(純額)	39,104	53,430
土地	590,872	584,800
建設仮勘定	127,666	19,510
有形固定資産合計	1,907,029	1,874,876
無形固定資産		
ソフトウェア	4,529	73,634
その他	20,484	3,142
無形固定資産合計	25,014	76,776
投資その他の資産		
投資有価証券	4,459,790	3,780,528
長期貸付金	6,000	-
繰延税金資産	5,123	4,641
その他	125,193	246,889
貸倒引当金	△6,458	△418
投資その他の資産合計	4,589,649	4,031,640
固定資産合計	6,521,693	5,983,293
繰延資産	286	155
資産合計	12,749,505	10,557,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	675,730	576,193
短期借入金	640,000	640,000
1年内返済予定の長期借入金	68,588	46,312
未払金	89,716	68,969
未払費用	136,423	88,219
未払法人税等	543,119	33,731
賞与引当金	103,466	103,458
預り金	22,827	33,719
その他	57,382	134,053
流動負債合計	2,337,255	1,724,657
固定負債		
長期借入金	75,790	29,478
役員退職慰労引当金	363,064	376,344
退職給付に係る負債	24,311	23,205
資産除去債務	3,802	9,044
繰延税金負債	739,330	630,227
その他	241,312	271,656
固定負債合計	1,447,611	1,339,956
負債合計	3,784,867	3,064,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
資本剰余金	1,189,947	1,193,947
利益剰余金	4,827,051	4,155,675
自己株式	△113,332	△198,897
株主資本合計	7,207,510	6,454,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,847,991	1,171,002
為替換算調整勘定	△91,540	△133,704
退職給付に係る調整累計額	676	563
その他の包括利益累計額合計	1,757,127	1,037,861
純資産合計	8,964,637	7,492,430
負債純資産合計	12,749,505	10,557,043

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	6,037,293	5,365,546
売上原価	4,628,885	4,536,101
売上総利益	1,408,407	829,444
販売費及び一般管理費	1,293,987	1,062,028
営業利益又は営業損失(△)	114,419	△232,583
営業外収益		
受取利息	1,514	2,357
受取配当金	40,531	47,807
助成金収入	1,000	4,244
スクラップ売却収入	31,741	22,419
受取補償金	26,950	-
その他	17,750	15,507
営業外収益合計	119,489	92,336
営業外費用		
支払利息	8,791	10,545
為替差損	15,399	10,624
持分法による投資損失	73,821	254,457
その他	17,293	34,718
営業外費用合計	115,304	310,344
経常利益又は経常損失(△)	118,604	△450,591
特別利益		
投資有価証券売却益	1,119,862	7,586
補助金収入	608,345	50,000
固定資産売却益	160	-
持分変動利益	53,229	111,115
関係会社株式売却益	5,340	-
特別利益合計	1,786,938	168,701
特別損失		
投資有価証券評価損	-	104,896
固定資産除却損	743	1,066
固定資産圧縮損	441,727	10,080
減損損失	71,561	2,464
特別損失合計	514,032	118,507
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,391,509	△400,398
法人税、住民税及び事業税	562,070	12,292
法人税等調整額	△31,422	128,526
法人税等合計	530,647	140,819
当期純利益又は当期純損失(△)	860,862	△541,217
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△56,979	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	917,841	△541,217

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	860,862	△541,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,579,539	△676,989
為替換算調整勘定	9,990	△42,163
退職給付に係る調整額	△135	△112
その他の包括利益合計	1,589,394	△719,266
包括利益	2,450,257	△1,260,483
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,507,236	△1,260,483
非支配株主に係る包括利益	△56,979	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,303,843	1,444,429	3,986,853	△86	6,735,040
当期変動額					
剰余金の配当			△86,361		△86,361
親会社株主に帰属する当期純利益			917,841		917,841
自己株式の取得				△113,245	△113,245
自己株式の処分					-
自己株式処分差損の振替					-
持分法の適用範囲の変動			8,717		8,717
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△254,481			△254,481
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△254,481	840,197	△113,245	472,470
当期末残高	1,303,843	1,189,947	4,827,051	△113,332	7,207,510

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	268,452	△101,531	812	167,732	175,889	7,078,661
当期変動額						
剰余金の配当						△86,361
親会社株主に帰属する当期純利益						917,841
自己株式の取得						△113,245
自己株式の処分						-
自己株式処分差損の振替						-
持分法の適用範囲の変動						8,717
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△254,481
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,579,539	9,990	△135	1,589,394	△175,889	1,413,505
当期変動額合計	1,579,539	9,990	△135	1,589,394	△175,889	1,885,976
当期末残高	1,847,991	△91,540	676	1,757,127	-	8,964,637

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,303,843	1,189,947	4,827,051	△113,332	7,207,510
当期変動額					
剰余金の配当			△121,949		△121,949
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△541,217		△541,217
自己株式の取得				△181,800	△181,800
自己株式の処分		△8,208		96,235	88,027
自己株式処分差損の振替		8,208	△8,208		-
持分法の適用範囲の変動					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		4,000			4,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	4,000	△671,376	△85,565	△752,941
当期末残高	1,303,843	1,193,947	4,155,675	△198,897	6,454,569

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,847,991	△91,540	676	1,757,127	-	8,964,637
当期変動額						
剰余金の配当						△121,949
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△541,217
自己株式の取得						△181,800
自己株式の処分						88,027
自己株式処分差損の振替						-
持分法の適用範囲の変動						-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						4,000
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△676,989	△42,163	△112	△719,266	-	△719,266
当期変動額合計	△676,989	△42,163	△112	△719,266	-	△1,472,207
当期末残高	1,171,002	△133,704	563	1,037,861	-	7,492,430

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,391,509	△400,398
減価償却費	191,911	239,603
減損損失	71,561	2,464
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,800	22,304
賞与引当金の増減額(△は減少)	194	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,217	13,280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,860	987
受取利息及び受取配当金	△42,046	△50,164
支払利息	8,791	10,545
持分法による投資損益(△は益)	73,821	254,457
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,119,862	△7,586
関係会社株式売却損益(△は益)	△5,340	-
投資有価証券評価損	-	104,896
持分変動損益(△は益)	△53,229	△111,115
補助金収入	△608,345	△50,000
固定資産圧縮損	441,727	10,080
有形固定資産売却損益(△は益)	△160	-
有形固定資産除却損	743	1,066
売上債権の増減額(△は増加)	△167,549	565,963
たな卸資産の増減額(△は増加)	145,047	28,575
仕入債務の増減額(△は減少)	16,700	△109,382
その他	68,923	△121,692
小計	445,275	403,877
利息及び配当金の受取額	36,789	46,092
利息の支払額	△9,394	△10,246
補助金の受取額	619,326	50,000
法人税等の還付額	5,534	11,645
法人税等の支払額	△120,796	△756,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,735	△254,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△253,489	△252,564
定期預金の払戻による収入	240,000	252,364
有形固定資産の取得による支出	△294,717	△212,922
有形固定資産の売却による収入	160	-
無形固定資産の取得による支出	△22,663	△68,034
投資有価証券の取得による支出	△352,978	△353,279
投資有価証券の売却による収入	1,189,356	23,228
関係会社株式の取得による支出	△4,370	△30,100
関係会社株式の売却による収入	2,230	-
貸付けによる支出	△66,890	△85,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	436,637	△726,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	120,000	-
長期借入による収入	118,000	-
長期借入金の返済による支出	△162,888	△68,588
自己株式取得のための預託金支出	△300,000	-
自己株式取得のための預託金の払戻しによる収入	-	3,361
配当金の支払額	△86,538	△121,806
非支配株主からの払込みによる収入	806,400	4,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	494,972	△183,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,518	△20,934
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,918,864	△1,185,210
現金及び現金同等物の期首残高	2,517,285	3,417,047
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,019,102	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,417,047	2,231,837

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	735.11円	619.89円
1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額(△)	74.48円	△44.94円
(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	917,841	△541,217
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	917,841	△541,217
普通株式の期中平均株式数(株)	12,323,986	12,043,422

(注) 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当連結会計年度 (2019年4月30日)
純資産の部の合計額(千円)	8,964,637	7,492,430
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,964,637	7,492,430
1株当たり純資産の算定に用いられた普通株式の数(株)	12,194,987	12,086,637

(重要な後発事象)

該当事項はありません。